

理事長あいさつ

もっと会員発の情報を！

理事長 船越 昇

「シルバーせいか」が節目の20号を迎えました。創刊号や2号、3号と、今年発行された18号、19号を比較すると、その内容の充実ぶりに目を見張ります。機関誌の成長はセンターの活動を忠実に反映しています。センター発の情報に加えて、これからは会員発の情報を増やしてほしい。「シルバーせいか」のさらなる充実に期待しています。

創刊号は、センターが発足する5ヶ月前の平成14年12月16日発行しました。

「センターの現状をお知らせし、みなさま方一人ひとりの意見や要望を掲載することで情報の共有化を図り、センター運営の円滑化に役立てようと機関紙を発行することにしました」と、トップ記事で発行の目的を述べました。A4版4ページの紙面には、15年1月から事務所を祝園西一丁目に開設すること、20日から10日間開く入会説明会の日程などを掲載。編集後記では編集担当者を募集しました。船越編集長の独断と偏見にブレーキを掛けるためでした。

2号（平成15年3月）では設立総会の日程や事務所の地図、192人の会員でスタートすることなどを報じています。任意団体発足後に発行した3号（平成15年6月）では「4～5月の受託高は47件、443万円になった」と誇らしげに報じています。業務開始直後の高揚した気分が行間から伝わってきます。

紙面に写真が掲載されるようになったのは4号（平成15年10月）からです。編集陣に母谷章宣氏が加わった10号（平成17年6月）からは紙面構成が柔らかくなりました。写真がふんだんに取り入れられ、読む紙面から見る紙面へと、機関誌の変身が始まりました。

19号（平成20年4月）はA4版12ページ。記事13本に写真34枚をあしらい、募集記事4本を別枠で組む盛りだくさんの内容です。センターに送られてくる近隣シルバーの機関誌と読み比べてみると「シルバーせいか」の充実ぶりが目立ちます。

20年度からは念願のホームページを立ち上げることにしています。センターの情報発信機能は一段と強化されることとなります。問題はこの二つの媒体でどのような情報を発信していくかです。内容が多彩とはいえ「シルバーせいか」の情報はほとんどがセンター（事務局）発のものでした。センターは会員が主人公の組織ですから、主人公である会員発の情報が重視されなければなりません。会員の積極的な参加を得て、センターと会員発の情報が行き交う機関誌とホームページをつくりあげたいと願っています。

理事会等のうごき

平成20年度第1回理事会

第1号議案 理事長、副理事長、専務理事の互選について
第2号議案 特別会員の承認について
第3号議案 監事の選任について

平成20年4月10日(木)

全議案を可決しました。

平成20年度第2回理事会

第4号議案 平成19年度事業報告の承認について
第5号議案 平成19年度収支計算書・財務諸表の承認について
第6号議案 正会員入会申込者の専決処分の承認について
第7号議案 平成20年度第1次収支補正予算書(案)について
第8号議案 平成20年度第1回通常総会について

平成20年5月15日(木)

全議案を可決しました。